

○筑波大学附属図書館図書館間相互貸借規程

平成 16 年 5 月 27 日

法 人 規 程 第 38 号

改正 平成 17 年法人規程第 38 号

平成 27 年法人規程第 5 号

令和 7 年法人規程第 57 号

筑波大学附属図書館図書館間相互貸借規程

(趣旨)

第 1 条 この法人規程は、筑波大学附属図書館規則（平成 16 年法人規則第 22 号）第 6 条第 2 項の規定に基づき、附属図書館と他大学の図書館等（外国の大学の図書館等を含む。以下同じ。）との間で行われる図書館資料の相互貸借（現物貸借及び文献複写をいう。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(相互貸借の範囲)

第 2 条 相互貸借における他大学の図書館等の範囲は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 大学、短期大学及び高等専門学校図書館
- (2) 国立図書館
- (3) 公共図書館
- (4) 学術研究を目的とする研究所の図書館
- (5) その他附属図書館長が適当と認めた図書館等

(対象資料)

第 3 条 現物貸借の対象となる図書館資料は、筑波大学附属図書館利用規程（平成 16 年法人規程第 37 号。以下「利用規程」という。）第 7 条第 1 項の表に規定する個人貸出のうちの一般貸出の対象となるものとする。ただし、次に掲げる図書館資料を除く。

- (1) 新刊書その他容易に入手できるもの
 - (2) 劣化又は破損の著しいもの
- 2 文献複写の対象となる図書館資料は、次に掲げる図書館資料以外のものとする。
- (1) 貴重図書
 - (2) 準貴重図書
 - (3) 視聴覚資料
 - (4) 劣化又は破損の著しいもの
 - (5) その他附属図書館長が定めるもの

(利用者)

第 4 条 附属図書館に相互貸借を依頼することができる者は、利用規程第 3 条第 1 号から第 3 号までに規定する者とする。

(他大学の図書館等への申込み)

第 5 条 附属図書館は、前条に規定する者から依頼を受けた場合には、他大学の図書館等に相互

貸借を申し込むものとする。

- 2 前項の場合において、申込み方法、料金及び支払い方法は、当該他大学の図書館等の定めるところによる。

(他大学の図書館等からの申込みの受付)

第6条 他大学の図書館等から相互貸借の申込みがあった場合は、第2条及び第3条に規定する範囲内において、これに応じるものとする。

(料金)

第7条 相互貸借に係る料金は、法人細則で定める。

- 2 前項の料金は、貸出資料及び文献複写物の引渡し（郵送の場合には発送）の都度通知するものとする。

(請求書の発行)

第8条 請求書は、相互貸借の申込みがあった他大学の図書館等に対し、当該月分について、翌月の10日(引渡しが行われたものについては年度の末日)までに発行するものとする。
ただし、国立情報学研究所の提供するILL文献複写等料金相殺サービスにより料金の相殺を行い、又はクレジットカード決済による支払いを行う他大学の図書館等については、この限りでない。

(料金の納付等)

第9条 相互貸借を申し込む他大学の図書館等は、第7条第1項の規定により法人細則で定める料金を納付しなければならない。

- 2 納付された料金は、返付しない。

(貸出冊数)

第10条 現物貸借に係る貸出冊数は、1図書館あたり5冊以内とする。

(貸出期間)

第11条 現物貸借に係る貸出期間は、郵送に要する期間も含めて、他大学の図書館等のうち国内のものに対しては30日以内、外国のものに対しては42日以内とする。

(損害賠償)

第12条 現物貸借で貸し出した図書館資料は、貸出しを受けた他大学の図書館等が責任をもって利用に供するものとし、貸出期間中に汚損、破損又は紛失したときは、利用規程第15条の規定を準用するものとする。

(雑則)

第13条 この法人規程に定めるもののほか、この法人規程の実施に関し必要な事項は、部局細則で定める。

附 則

この法人規程は、平成16年5月27日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

附 則（平 17. 3. 24 法人規程 38 号）抄
（施行期日）

- 1 この法人規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平 27. 3. 3 法人規程 5 号）
この法人規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令 7. 12. 18 法人規程 57 号）
この法人規程は、令和 7 年 12 月 18 日から施行する。